



2009(H21)10.1 発行
No. 225
愛媛県立図書館報



Library Ehime



リニューアルしました

愛媛県立図書館長
野上 完治

1 はじめに

まずは、愛媛県立図書館の自己紹介をさせていただきます。場所は松山市堀之内の愛媛県美術館の裏です。美術館と土塁の木々に囲まれて少々わかりにくいのですが、愛媛県教育文化会館という5階建ての堂々とした建物の中にあります。そのうち4階と5階は県立博物館として長らく県民の皆様に親しまれておりましたが、昨年度末をもって新居浜市の愛媛県総合科学博物館に移転統合しました。こうしたことから、4階と5階についても図書館として利用できることになり、この4月1日にリニューアルオープンいたしました。

2 えひめ資料室の設置

まず、できるだけ開架図書（手にとって見ていただく図書）を増やそうということで、3階の一般図書室を拡張したほか、4階を新設のえひめ資料室とし、カウンターも設置しました。このえひめ資料室には17,000点にもものぼる「伊予俳諧文庫」の句集や軸・短冊などを収蔵しており、俳諧の聖地愛媛にふさわしい内容となっています。また、検地帳をはじめとする藩政期から明治期の行政資料や伊予八藩土地関係資料8,000点など、60,000点におよぶ郷土資料を収蔵しています。ここでは、愛媛出身の作者の本、愛媛について書かれた本は網羅的に収集して、「愛媛のことは何でもわかる」資料室を目指しています。

ところで、博物館移転後、高さ2メートル、幅15メートルもある頑丈なガラス張りの展示スペースが残されました。そこで、このスペースを利用して、本館が所蔵している“お宝”を公開することにしました。現在は、「古地図や写真で見る城下町



松山」展と、「伊予俳諧文庫」展をしています。本物の太閤検地帳や子規の直筆書簡なども展示しています。

秋になると「全国読書週間」に合わせて「昔の教科書」展をする予定です。江戸時代の寺子屋で用いられた教科書や、西予市にある開明学校で使われた掛図なども展示しますのでお楽しみに。

3 課題解決のための情報提供サービス

「定年退職後は、お店でも始めてみようかな。」とか、「最近、不安で眠れない、うつかも。」とか、「うちの子はどうしてこんなに落ち着きがないのだろう。」とか、いろいろとお悩みのこともあるかと存じます。こうした皆さんの悩みや課題を解決するため、従来の「ビジネス情報コーナー」(2,000冊)、「医療・健康情報コーナー」(3,200冊)、「子育て情報コーナー」(1,900冊)をさらに充実させ、「困ったことがあったら図書館へ行こう」といっていただけるようにしたいと考えています。また、中高生にできるだけ本を読んでもらおうと、「YA（ヤングアダルト）コーナー」を新設し、中高生向きの本を紹介したり、高校生対象の「小論文のネタ探しセミナー」を実施したりしています。

4 図書館からの情報発信

今年は「しまなみ海道10周年」ということで、様々なイベントが開催されています。県立図書館もこのPRに協力するために、中国地方の図書館と協働して、互いの観光や文学を紹介しあう活動を展開しています。10月からは山口県立図書館と協力し、「山頭火を旅する～山頭火のふるさと・山口への誘い」展を行います。他にも、「愛媛の鉄道」展など各階のロビーを利用したミニ展示をやっておりますのでご覧ください。

また、子ども読書室に「子ども読書支援センター」を設けて、子どもの読書についてのご相談に応じるなど、今年も「役に立つ図書館」を目指して職員一同がんばっておりますので、県立図書館へ足を運んでいただきますようお願いいたします。

4階「えひめ資料室」ご案内

図書整理係 白石 直美

平成21年4月1日より、これまで3階閲覧室にあった郷土・俳諧資料を4階に移して、新たに「えひめ資料室」として独立させました。

1 入り口



■階段・エレベーターから出て、右に2回曲がってください。

3 展示コーナー



■壁一面を使って貴重な資料を展示しています。

2 郷土資料コーナー



■入り口右手です。愛媛県に関する本・雑誌・住宅地図・土地台帳データ用パソコンなどがあります。

4 俳諧資料コーナー



■俳諧に関する本・雑誌があります。古い新聞のマイクロフィルムの読み取り機（リーダー）もこのコーナーの近くです。

このリニューアルにより開架可能冊数を

■郷土資料 23,000冊
(リニューアル前4,700冊)

■俳諧資料 6,000冊
(リニューアル前2,400冊)

と大幅に増やすことができました。

以前は書庫に入っていた資料を直接手に取れる効果は大きいようです。
貸出冊数を前年同月と比較すると、
郷土資料は31%の増加、俳諧資料は53%の増加を記録しています。

これからも多様な資料を
ご提供できるよう努めますので、
ご活用ください。

貸出冊数の月別記録

	4月	5月	6月	7月	合計
郷土資料	451	378	281	379	1489
前年同月	260	277	287	316	1140
俳諧資料	286	211	206	169	872
前年同月	132	121	153	165	571
合計	737	589	487	548	2361
前年同月	392	398	440	481	1711

しまなみを売り込め！県外の図書館との共同企画展

相談係 天野奈緒也

愛媛県立図書館では、昨年12月から県外の図書館とのネットワークを活用して、お互いに観光・文化を紹介しあう共同企画展示を開催してきました。実際の観光客の誘致と、地域と人の交流促進を目的としています。会場となる図書館では、観光パンフレットやポスター、そして観光・文化について書かれた図書や雑誌などを展示します。パンフレットやポスターを眺めるだけでなく、図書や雑誌を合わせて読むことで、歴史、文学、産業など、さまざまな分野のその土地についての知識を深め、より関心を高めてから旅することができます。図書館の新しい情報発信の試みです。

愛媛県立図書館が企画した展示では、愛媛県の「しまなみ海道10周年記念事業」のPRに特に重点を置いて展開してきました。鳥取県立図書館（4月20日～5月20日）を皮切りに、津山市立図書館（5月30日～6月20日）、福山市新市図書館（7月16日～30日）、広島県立図書館（8月1日～30日 ※同時開催）、山口県立山口図書館（9月8日～29日）と中国地方を横断する形で展開してきました。

反対に、鳥取県立図書館（昨年12月2日～26日）、津山市立図書館（7月3日～30日）、広島県立図書館（8月1日～30日 ※同時開催）、山口県立山口図書館（10月1日～29日）と、それぞれの図書館の企画展示も愛媛県立図書館で開催しました。

各会場では多くの来場者の方にパンフレットを持ち帰っていただけたようですし、実際に「しまなみ海道に行ってきます」とおっしゃった方もおられたようです。図書館も多少はPRに貢献できたのではないかと思います。今後も観光・文化の展示を企画していきたいと考えています。



福山市新市図書館での展示の様子

郷土の記録を後世に守り伝えるために

図書整理係 米子由佳里

愛媛県立図書館では郷土資料を県内で最も多く網羅的に収集し、県内外から利用され好評を得ているところです。このたび愛媛県関係資料と俳句資料の専門フロアとして4階に「えひめ資料室」がオープンしました。これを機に、それらの資料をより永く後世に守り伝えたいと考え、平成21年9月1日より「郷土雑誌」及び「特別取扱資料」の取扱いについて、次のとおりとしていますのでお知らせします。

1. 郷土雑誌（1冊しかないものに限り）は、「えひめ資料室」内での閲覧のみとしています。

- 1冊しかない郷土雑誌については館外貸出を取りやめ、館内での閲覧のみとしました。
- 2冊ある郷土雑誌については、そのうち1冊について貸出をしています。
- 館外貸出を取りやめたため、来館していただければいつでもご覧になれます。
- ※ 郷土雑誌は全国雑誌と異なり、一度滅失すると再度入手することが非常に困難であるうえ、他県の図書館では収集されない貴重な資料です。是非ご協力をお願いします。

2. 特別取扱資料は、コピー機による複写をお断りし、カメラによる複製をお願いしています。

～特別取扱資料とは～

- ★ 愛媛県行政資料（藩政期・明治期）、伊予八幡土地関係史料
- ★ 明治以前の古文書（諸家文書含む）・古記録・古地図
- ★ 刊行後30年以上経過した新聞（「日刊新愛媛」は全号）等
- 資料の破損、劣化、退色等を防ぐため、コピー機による複写をお断りすることにしました。
- カメラ等の持込み複製機器による写真撮影はできます。カメラをお持ちでない方は、貸出用カメラ（1台）がありますのでカウンターまでお申し出ください。その場合、館内でプリントアウト（1枚10円、白黒のみ）してお持ち帰りができます。
- ※ 特別取扱資料は、資料的価値が高いもの、破損しやすいもの、劣化や退色の恐れのあるもの、今後入手困難なものです。是非ご協力をお願いします。

医療・健康情報コーナーをご活用ください

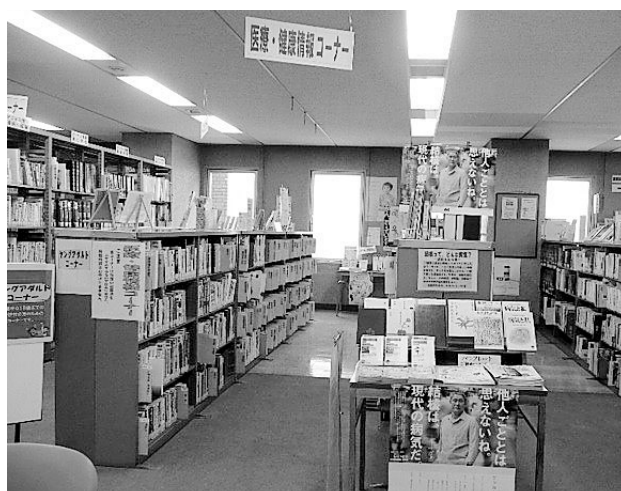
相談係 水野千恵子

愛媛県立図書館では、平成19年度から3階一般図書室（平成19年度当時の名称は「第一閲覧室」）に「医療・健康情報コーナー」を設置しています。図書館蔵書のうち医学、看護学、家庭医学、福祉などに分類される図書約2,700冊をまとめて比較的背の低い本棚に並べ、利用者の皆さんが手に取りやすいようコーナーを作っています。

今年7月からは、このコーナーに県内の患者会資料と、それに関連して闘病記を加えるとともに、地域の医療情報をあわせて提供すべく、4階「えひめ資料室」で管理している郷土資料のうち医療・健康関連の比較的新しい資料（例『愛媛県地域保健医療計画』、『中国・四国病院情報』など）を移して配架しています。

また、このコーナーを設置して以来行っているミニ展示も、月ごとに話題のトピックを織り交ぜながら企画、実施しています。

今回のリニューアルの概要をご説明します。



1 患者会資料コーナーをつくりました

患者会資料は、病院や社会福祉施設など専門分野ごとに分かれて設置されていることが多く、また、インターネットを活用し、ホームページやブログなどで情報を発信する団体もたくさんありますが、患者数が少ない団体の広報や、インターネットが使えない人への情報提供など、PRに苦労しているとの声も聞かれます。誰でも気軽に利用できる公共図書館という特性を生かし、疾患の違いなく患者会情報を提供する場を作るために、県内で活動する患者会、家族会に依頼し、会報、入会案内、関連図書などの提供を受け公開しています。提供団体が増えるよう更に働きかけていく予定です。

■現在ご協力いただいているのは次の26団体です。

NPO法人SIDS家族の会
愛声会
愛媛頸損者連絡会
愛媛県腎臓病患者連絡協議会
愛媛高次脳機能障害者を支援する会「あい」
愛媛腸疾患友の会
NPO法人愛媛難聴者協会
NPO法人こころ塾
コスモスの会
ギャンブル依存症家族の自助グループ
全国筋無力症友の会愛媛県支部
NPO法人全国言友会連絡協議会愛媛言友会
全国脊髄損傷者連絡会愛媛県支部
つくしの会 軟骨無形成症患者・家族の会
低肺機能グループ 愛媛O₂会
日本ALS協会愛媛県支部
日本骨髄腫患者の会
日本てんかん協会愛媛県支部
乳がん患者会 あけぼの会
認知症の人と家族の会愛媛県支部
NPO法人のぞみ会四国支部
松山失語症友の会
NPO法人ラ・ファミリエ
リボンの会
摂食障害を持つ女性の自助グループ

2 闘病記コーナーをつくりました

闘病記は、当館が開館以来蓄積してきた蔵書の中から、職員が手にとって約500冊を選定しました。通常の図書分類では、ルポルタージュやエッセイなどに分類され、医学分類の本とは切り離して管理されているものが殆どですが、最近ではさまざまな図書館で医学図書と並べて、患者を精神的にフォローする資料として提供されるようになってきました。利用しやすいように、本で扱われている疾患名のラベルを新しく貼り、また、蔵書検索システムでも検索できるよう、疾患名や闘病記などのデータを追加入力しました。闘病記のリストは、当館ホームページの「医療健康情報コーナー」に公開していますので、こちらもあわせてご覧ください。

3 愛媛関係の医療・健康関連資料を置きました

愛媛の医療や健康に関する図書や県内各自治体が発行する資料、県内の病院や福祉施設が発行するパンフレット、広報誌など、従来は4階「えひめ資料室」で管理していた資料の一部を、利用の便を考慮して、このコーナーに移設しました。



子ども読書系の暑い、熱い夏



子ども読書係 山本 和子

連日、多くの利用者が子ども読書室・子ども読書支援センターを訪れ、本と格闘した夏休み。子ども読書系の暑い、熱い夏が終わり、展示も秋の装いに様変わりしました。

さて、子ども読書室担当の職員は、夏休みの間、宿題に悩まされている子どもとその保護者の姿、純粋に読みたい本を探している個人や家族、それぞれの方々の姿を、いろいろな思いをもって眺めていました。ときには、「宿題を通して、調べ方が分かるといいね。頑張ってうまくまとめてね。心に残るいい本と出会えるといいね。」と心の中でエールを送り、ときには、何とか課題が解決できる本を探してあげたいと一緒に悩み・・・、ふと気がつくと、夏が終わっていたというのが実感です。そして手元に残ったのは、夏休み中に、利用者から相談を受けた内容を記入した連絡ノート。その中には、この一夏の、利用者の疑問や課題の内容がいっぱい書かれています。職員の情報交換用のこのノートは、来年のレファレンスのための大事な資料となることでしょう。

また、夏休みならではの事業も盛りだくさん。

7月29日、30日は、愛媛県出身の昆虫写真家 新聞 孝先生を迎えての講演会を開催。愛媛県立図書館と西条市立西条図書館での「虫のふしぎさがし」と題した講演会は、不思議な虫の生態が手に取るように分かる内容で、興味深い写真に、参加者から感嘆の声が何度も上がりました。講演の中には、夏休みの自由研究のヒントになるような内容もあり、家でトンボを採って、実際に確かめてみた子どももいるのではないかと想像しています。



8月6日、7日には、絵本作家 竹内 通雅先生をお迎えして、「4コマ絵本作り&プチコンサート」を開催。愛媛県立図書館と大洲市立図書館 2会場では、関心の高い家族連れが、楽しいトークとオリジナルの4コマ絵本作りを楽しみました。ギターを弾きながら御自身の著作を歌にして

紹介する講師に、温かい拍手が送られました。愛媛県に来られるのは初めてだとおっしゃっていた竹内先生、愛媛の風土を気に入られ、もう一日居たいなと、惜しみながら帰京されました。

お二人の講師の著書は、夏休みの間、いろいろな方の目に触れ、それぞれの心の中に何かを残してくれたものと思います。



さらに、8月1日(土)の「おはなしだいすき」には、ヤングボランティアに所属している高校生が、特別出演してくれました。事前研修、リハーサル、自主練習を経て読み聞かせに臨んだ高校生は、ベテランの演者たちの助言や励ましを力に、初めての経験を無事にこなしました。機会があれば次もと、新たな意欲を示してくれた若い力にふれることもできた夏でした。

最後に、職員が県下各地に出向いて、学校図書館にかかわる先生方に話をさせていただく機会にも恵まれました。松山市、西条市、愛南町、そして伊予郡市。公立図書館と学校の連携は、今後ますます強化していかなければならない部分であり、愛媛県内の子どもの読書状況を知った上で、図書館としてできること、学校でしかできないことなどを確認し合うことは、大変大事なことでと考えます。一番問題になっている中・高校生の読書離れについても、中・高校の先生方の力をお借りすることで、救われる子どもたちはたくさんいると思います、協力をお願いしました。

以上のように、図書館は、本を手渡すだけの場所ではなく、そこで働く人と本を利用する人が、本を通してつながる場所でもあります。この暑かった夏休みに、初めて子ども読書室を訪れた方が、今後も何かの折に足を運んで利用してくださることを願っています。

2学期には、1学期に引き続き、県下各地の小・中・高校でブックトークを行います。ブックトークをする学校の子どもの顔を思い浮かべながら、本を読み、紹介する本を選び、原稿を書く作業が待っています。

季節は、秋に移っても、子ども読書系の熱い日々は、これからも続きます。

公共図書館と学校図書館の連携を 第46回愛媛県図書館講習会

第46回愛媛県図書館講習会が県図書館協会や県立図書館等の主催により8月18日に開催され、県内の公共図書館、学校図書館、読書関係施設関係者等77名が県立図書館に集いました。

実践発表①「利用しやすい活気ある図書館を目指して」

県立宇和高等学校 角藤 栄氏より、図書委員会活動を中心とした9年間の取り組みの発表がありました。

図書館の配架、照明、蔵書等を見直すなど生徒にとって利用しやすい図書館を目指した成果として、利用者数・貸出冊数が大幅に増加しているそうです。また、生徒図書委員会の自主的・主体的活動が行われていたり、西予市民図書館司書やボランティアによるブックトークが実施されていたりするなど連携が広がっている様子の報告がなされました。

実践発表②「公共図書館から学校図書館支援を」

新居浜市立別子銅山記念図書館からは、学校図書館支援推進事業の取り組みについて司書 久葉加代氏、学校図書館支援員 清水 広美氏より発表がありました。

新居浜市が3年計画で実施している学校図書館支援推進事業の概略が紹介されました。また、今年度からは、文部科学省の指定を受けた「学び方を学ぶ場としての学校図書館機能強化プロジェクト」



ト」を計画しているため、図書館を使った調べ学習に力を入れているそうです。

図書館の環境整備だけではなく、授業に必要な資料提供、分類講座、情報リテラシー講座の実施など、学校の授業に図書館をいかに活用するかを実践している職員の方の熱意が伝わってきました。

帝京大学文学部教育学科 鎌田 和宏氏 講演会

午後からは、「学校図書館における選書について」という演題で、帝京大学文学部教育学科・教職大学院 鎌田和宏講師による講演会を行いました。

学校図書館の役割や重要性をご自身の小学校教諭時代の教育実践より述べられ、一人一人の子どもたちの力を伸ばす図書館の可能性を示唆されました。

学校図書館に必要な図書・メディア資料とはどのようなものなのか、「調べるための本」として備えなくてはならないのはどんな本なのかを分かりやすく説明してくださり、教師の視点、司書の視点それぞれの目で選んだ資料のよさがあることなど、著書である『先生と司書が選んだ 調べるための本 小学校社会科で活用できる学校図書館コレクション』（少年写真新聞社）を紹介しながら、子どもたちの学びを支えるのが図書館であることを改めて考えさせられました。

(普及係 田井野 和恵)



愛媛県立図書館の利用案内

【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

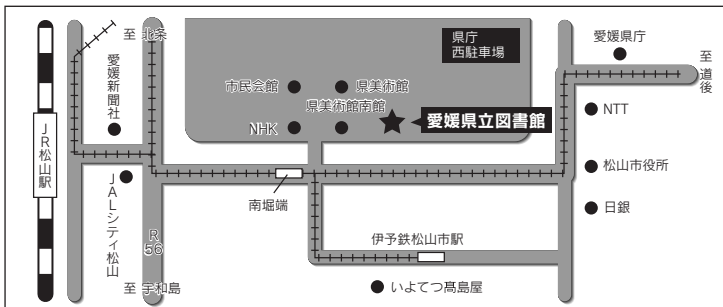
【休館日】

月曜日（祝日の場合は、直後の平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
特別整理期間（10日以内で館長が定める日）
館内整理日（毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日）

【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、県庁西駐車場（旧国際交流センター跡地）をご利用できます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

<付近略図>



- ※ 伊予鉄松山市駅より徒歩 10 分
- ※ 伊予鉄市内電車「南堀端（みなみほりばた）」停留所より徒歩 2 分
- ※ JR 松山駅より徒歩 15 分

編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内

TEL 089-941-1441 FAX 089-941-1454

http://www.library.ne.jp/ehime/
e-mail: tosyokan@pref.ehime.jp